

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和5年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立相模湖ふれあいパーク
指定管理者名	株式会社サンワックス
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
施設設置条例	相模原市立相模湖ふれあいパーク条例
施設の設置目的	市民及び相模湖を訪れる者の利便を図るとともに、市民と相模湖を訪れる者の交流及び憩いの場を提供するため
施設概要	相模原市緑区与瀬1183番地2 駐車場(自動車駐車場14台、月単位自動車駐車場7台) 駐輪場(月単位オートバイ26台、月単位自転車16台) 公園、公衆便所等 自動車駐車場開所時間(午前8時～午後8時、24時間実証実験期間中(R5.3.20～R5.6.30)は午前0時～午後12時)
施設所管課	緑区役所区政策課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数合計(人)	13,055	12,652	10,818	12,572	12,405	13,786	
利用料金合計(円)	3,855,016	3,543,491	2,778,377	3,141,333	3,321,083	3,899,695	
回転率	2.49	2.40	2.06	2.40	2.65	2.90	

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが緩和されたことに伴い利用が増加し、計画上の回転率を上回る実績となっている。 【評価基準は、当該年度の達成度が110%以上のため、S評価】

### 指標1

指標名(単位)	回転率(台)
指標式と指標の説明	年間延べ利用台数÷(収容台数×営業日数)

項目(単位)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値(台)	2.70	2.70	2.70	2.70	2.50	2.50	2.50
実績値(台)	2.49	2.40	2.06	2.40	2.65	2.90	
達成度(%)	92.2%	88.9%	76.3%	88.9%	106.0%	116.0%	

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>駐車場対応策として取り入れた「交通系ICカードを利用した利用料金の優待」を継続し、サービスが向上。カーシェアサービスや備品の貸し出しにより、市民や相模湖を訪れる者の利便を図るとともに、地域の子どもたちと一緒に花植えなど、地域住民との交流も図ることで活性化の一助となっている。</p> <p>【評価基準に対する実績点の割合が125%以上のため、S評価】</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
非接触型決済の導入	通年	電子マネーや高額紙幣等での決済対応の精算機設置を継続 利用者の利便性が向上した	◎
交通系ICカードを利用した利用料金の優待	通年	交通ICカード決済の相模湖駅利用者に対してパーク&ライド利用 料金の優待を継続し、前年度より利用者を増やすことができた 利用回数 663件	◎
コンタクトセンター直通電話の設置	通年	精算機に24時間365日対応の専用電話を設置を継続 利用回数56件 即時対応が可能となり利便性が向上した	◎
遠隔操作カメラの設置	通年	機器トラブル時等に遠隔操作が可能なカメラを設置 トラブル等に確認と即時対応が可能となり利便性が向上した	◎
広報活動	通年	満空情報、SNSでの情報発信、掲示板の設置 投稿回数Twitter 220件 Instagram218件	◎

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
カーシェアサービス	令和5年4月 ～令和6年3月	シェアカーを提供するサービスを実施 地域や観光客の利便性が向上した	◎
備品の貸し出し	令和5年4月 ～令和6年3月	駐輪場に空気入れ・タオル等、駐車場に貸出傘を設置 利用者の利便性が向上した	◎
相模湖やまなみイルミネーションへの参加	令和5年12月1日 ～令和6年1月8日	相模湖地域の施設と連携し公園施設をライトアップした 地域団体との連携により周辺地域の活性に貢献した	○
青空クラフト広場	4/8、6/4、7/9、10/22、12/2	屋上公園で工作の講座を実施 年間5回、参加者29組 地域住民のコミュニケーションの場となった	○
花植え体験	11月13日	相模湖子ども園と連携し、園児と花壇に花植えを実施 年間1回 地域との連携し施設の美観が向上した	◎
アウトリーチ	8月26日 11月19日	地域連携と施設の周知を目的として小原宿活性化推進 会議主催「小原の里の夏まつり」、津久井青年会議所主 催の「津久井湖上祭こどもマルシェ」に出店した	○

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
D	利用者から「いつもきれいに管理されていてありがたい」や自主事業のイベントについて「楽しみにしています。今後も続けてほしいです」といった意見をいただいていることは評価できる、一方、施設全体の使いづらさについての意見がみられるため、検討の余地が必要である。施設に関しては、施設管理者だけの対応では難しい場面もあるため、地域住民の意見を踏まえながら、市と連携した対応を検討していただきたい。 【評価基準は、下記記載の達成度が80%未満であるため、D評価】

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	対面により利用者アンケート調査を実施 時期: 令和5年4月1日～令和6年3月31日 サンプル数105件
目標値の基準	利用者の総合的な満足度の設問に対する「非常に満足」「満足」以上の合計の割合

項目 (単位)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	80.0	80.0	
実績値 (%)	81.1	89.0	95.5	97.9	80.5	51.4	
達成度 (%)	90.1%	98.9%	106.1%	108.8%	100.6%	64.3%	

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOXの設置	通年	駐車場の入口に意見・要望用のアンケートBOXを設置し、利用者の意見や要望の把握に努めている。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	施設の収支状況は本体事業収支、全体収支とも黒字であり、指定管理者団体本体の経営状況に特段の問題はないことから、S評価となった。 団体の経営状況は安定しており、施設を運営するに十分な経営規模資力を有する。財務内容は健全である。 【評価基準は、基礎シート3の団体本体の経営状況が「特段の課題はない。」10点のため、S評価】

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)		7,202	10,032	10,480
指定管理料		4,062	6,441	6,441
利用料金収入		2,990	3,321	3,899
その他の収入		150	270	140
支出 (b)		8,890	9,605	9,927
人件費		5,626	239	302
本社管理経費		0	482	482
その他の支出		3,264	8,884	9,143
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		-1,688	427	553
自主事業収入 (d)		0	210	326
自主事業支出 (e)		0	335	285
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	-125	41
全体収支 [(c)+(f)]		-1,688	302	594
備考	千円未満は切り捨て処理			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング	
実施時期	令和6年2月16日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	無
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが緩和されたことに伴い利用が増加し、年間を通して目標とする2.5を超える回転率を得ることができました。電子マネーの決済が前年度比217%、パーク&ライド（交通ICカード決済と相模湖駅利用者の利用料金優待）が前年度比245%となり、ICT機器の導入が利用者の利便性向上へとつながったと推察できる結果を得ました。引き続き、さまざまなサービス向上に努めていきます。

施設管理では、当社の建物管理のノウハウを発揮し、屋上公園タイル・屋上公園漏水止め・トイレペーパーホルダー修繕・トイレ水道を自動水栓に更新等多数の自社修繕を実施し、施設の安全確保と経費の削減に貢献しました。電気料金高騰への対策として事務室照明のLED化、噴水池循環ポンプ稼働時間の調整を継続し、節電と環境への配慮に取り組みました。

自主事業では、カーシェアサービスや備品貸出等による施設の利便性向上、イルミネーションの設置やこども園との花植え体験等の実施による地域との連携、工作講座実施による公園施設の活用を行い、施設全体の活性化に取り組みました。アウトリーチとして近隣施設のイベントに出店し、地域との連携と施設の周知に取り組みました。広報はSNSを活用し、駐車場の情報だけでなく自主事業や公園の風景、開花状況等も広く発信しました。

令和6年度も施設全体の安心安全な環境の提供とサービスの水準の維持を継続し、駐車場・駐輪場の利用者の増加と自主事業による施設の活性化に取り組んでいきます。また、令和5年6月まで本市と連携して実施した自動車一時駐車場の入出場を24時間可能とする実証実験の結果を今後の施設運営に活かしたいと思えます。

## 10 所管課意見

電子マネーの決済やパーク&ライド（交通ICカード決済と相模湖駅利用者の利用料金優待）など、ICT機器の導入の継続により、利用者の利便性向上へつなげることができたと言える。

施設管理では、実施可能な自主修繕に取り組み、安全性の確保と経費の削減により適切な施設管理の状況、努力が窺える。

自主事業では、カーシェアサービスや備品の貸し出しにより、市民や相模湖を訪れる者の利便を図るとともに、地域の子どもたちと一緒に花植えなど、地域住民との交流も図ることで活性化の一助となっていることから、引き続き創意工夫を図っていただきたい。

今後も利用者の利便性を向上し、利用者数及び利用料金の安定化を図るためにも、指定管理者と連携しながら、課題に取り組んでいきたい。

## 11 選考委員会意見

・パークアンドライドなど、ICTを活用した取組が、利用者数、回転率などの増加という形で結果として表れてきていることは評価できる。今後は、地元商店街と連携して回数駐車券利用を増やすなどの取組を実施できるとなると感じる。

・指定管理者の法人としての財務状況は極めて安定している。

・屋上公園のタイルの摩耗が進んでおり、スケートボードの利用などがあるものと推察される。事故のないよう注意喚起看板や防犯カメラを設置するなど、利用者の安全確保に努めてもらいたい。

・施設の満足度評価が昨年度から大きく下がっており、施設利用頻度との関連性など、原因の究明や調査結果への反映に努めると同時に、評価の計算方法などについても他施設と同様の視点で実施できるよう検討いただきたい。

## 総合評価（自動判定）

**A**

(75/100)

